

サポート

No. 189

令和4年12月28日発行
県教育庁特別支援教育課指導班

祝 視覚支援学校創立110周年

未来に光あれ～創立110周年～

県立盲啞学校としての開校（明治45年）から長い歳月を重ね、今年度、本校は創立110周年を迎えました。11月23日に挙行了した記念式典では、高等部生徒会長が、本校の記念碑に刻まれた校歌の一節「光あれ」を紹介し、「光ある未来に向かって進んでいきたい」と抱負を述べました。式典後の記念アトラクションでは、代表児童生徒3名による谷川俊太郎の詩「明日」の朗読に続き、全校児童生徒と職員がボディパーカッションを披露しました。「明日があるさ」の曲に合わせ、3つのリズムパートで手拍子と足踏みを組み合わせた「手拍子の花束」です。

また、御参加の皆様には次の手作りの品をお渡ししました。

- ・ハーバリウムのボトルフラワー（小・中学部児童生徒が製作）
- ・点字用紙を使ったポチ袋とラベンダーの香り袋（高等部生徒が製作）

全校の一体感があふれ、コンパクトながらも、心のこもった「おもてなし」となりました。大きな節目に臨み、未来への新たな希望が胸に膨らむ思いがしました。
（視覚支援学校 教頭 小玉 幸子）



児童生徒代表挨拶



全校児童生徒と職員でボディパーカッションを披露

祝 聴覚支援学校創立110周年

その挑戦（ちゃれんじ）が未来につながる～新たなページへ～

令和4年度、聴覚支援学校は創立110周年を迎えました。

5月の記念運動会と7月の東北地区聾学校体育大会秋田大会では、幼児児童生徒の原画を基に高等部情報デザイン科生徒がデザインしたTシャツを着用しました。7月の劇団「風」によるバリアフリー演劇「ヘレン・ケラー」では、大がかりな舞台で記念演劇鑑賞を行いました。10月には記念学習発表会と共に開催したタイムカプセル開封・封入式、11月3日には記念式典と記念誌発行、多くの記念事業を通して、卒業生や関係の方々から温かい励ましをいただき、たくさんの方々に応援していただいていることを実感しました。

式典当日は、高等部生徒を中心に幼児児童生徒全員が「御来賓の方々を気持ちよくお迎えしたい」「喜んでもらいたい」という気持ちで、受付案内やアトラクション演技をしました。また、来校者に配付したオリジナルクリアファイル、オリジナルポストカード、秋田杉トレイは、高等部と専攻科の生徒が数か月かけて製作したものです。

全校幼児児童生徒に加えて、たくさんの方々から記念事業に関わってくださり、皆で創立110周年を祝いました。これからも、支えてくださるたくさんの方々と共に聴覚障害教育を「つないで」いきたいと思ひます。

（聴覚支援学校 教諭 川村 雅子）



高等部生徒による笑顔の
出迎え



幼稚部から高等部専攻科
まで幼児児童生徒30名
でのアトラクション

高等学校における特別支援教育の充実に向けて～高等学校特別支援隊研修会～

高等学校特別支援隊は、高等学校に在籍する特別な支援を必要とする生徒に対する支援を組織的に行うため、平成25年度にスタートしました。県内3地区の特別支援学校に事務局を設置し、特別支援学校や障害者就労支援機関、相談機関がチームを組んで支援を行っています。

また、各地区・地域では特別支援教育に関する研修会も行っています。研修会には、高等学校の特別支援教育コーディネーターを中心に、特別な支援を必要とする生徒の学級担任や会場校の教職員等の参加があり、60名を超える参加があった地域もありました。今年度の概要は下表のとおりです。



大館桂桜高等学校の実践発表

研修内容については、前年度の参加者のアンケートや地区・地域の高等学校のニーズから決定しており、今年度は、校内支援体制や就労支援、発達障害に関する講話・講演のほか、多くの地区・地域で高等学校による実践発表が行われました。秋田北鷹高等学校で行われた研修会では2校の実践発表があり、大館桂桜高等学校からは、高等学校特別支援隊の相談支援を活用したことにより、特別な支援を必要とする生徒についての生徒理解が進み、必要な支援や配慮を教職員間で共有して指導に当たったことで、生徒の成長につながったという報告がありました。

各研修会の参加者からは、「自分の実践を改めて見直したい」「関係機関との協力が大切だと感じた」「もっと多くの教職員に聞いてもらえるとよかった」など、高等学校における特別支援教育の充実につながる感想が聞かれました。

高等学校特別支援隊の活用に当たっては、下記のURLまたは二次元コードからリーフレットをご覧ください。

高等学校特別支援隊のリーフレットはこちらからダウンロードできます。

<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/7460>



各地区・地域における高等学校特別支援隊研修会の概要

名称	日程等	内容
令和4年度 高等学校特別支援隊 鹿角・小坂地区3校 合同研修会	10月4日 (火) 十和田市民 センター	<ul style="list-style-type: none"> ・話題提供 花輪高等学校、十和田高等学校 特別支援教育コーディネーター ・講話「高等学校における支援教育と不登校への対応」 比内支援学校かづの校 副校長 村松 勝信 氏
令和4年度 県北地区高等学校 特別支援隊研修会	11月1日 (火) 秋田北鷹 高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ・実践発表 秋田北鷹高等学校、大館桂桜高等学校 教諭 ・講演「教師だからできる支援と配慮を考える」 秋田県発達障害者支援センター ふきのとう秋田 センター長 荒川 祐介 氏
令和4年度 県北地区高等学校 特別支援隊研修会	11月9日 (水) 能代松陽 高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供「高等学校における特別な支援の実際」 能代支援学校 教諭(兼)教育専門監 渡部 陽子 氏 ・実践発表 能代科学技術高等学校 特別支援教育コーディネーター
令和4年度 高等学校 特別支援教育研修会 (中央地区)	11月9日 (水) 明德館ビル	<ul style="list-style-type: none"> ・実践発表「就労支援機関との連携を通して」男鹿海洋高等学校 就職支援員 ・講演「大学における障害学生への支援の実際」 秋田大学学生支援総合センター 特任講師 伊藤 麻里 氏
令和4年度 県南地区高等学校 特別支援教育研修会	10月13日 (木) オンライン開催	<ul style="list-style-type: none"> ・講話「特別な支援を要する生徒に対する就労支援について」 秋田障害者職業センター 障害者職業カウンセラー 目黒 千恵 氏 ・実践紹介「障害者就業・生活支援センターにおける就労支援の実際」 ネット横手障害者就業・生活支援センター センター長(兼)主任就業・生活支援員 有原 佳奈子 氏

令和4年度 学校と放課後等デイサービス事業所の連携促進会議

県教育委員会では、今年度から、県内1市をモデル市に指定し、「学校と放課後等デイサービス事業所の連携促進会議」への参加と、連携促進のための具体的な取組を依頼し、モデル市における1年間の実践の成果を全県に共有することとしています。ここでは、今年度の連携促進会議の概要とモデル市である由利本荘市の現時点での取組内容を紹介します。

※参考資料：「学校と放課後等デイサービス事業所の連携促進のためのガイド」
(令和4年3月 教育庁特別支援教育課・県健康福祉部障害福祉課)



◇学校と放課後等デイサービス事業所の連携促進会議◇

趣旨	学校と放課後等デイサービス事業所の相互理解と障害のある子どもに対する支援の共有を図ることにより、子どもや保護者への切れ目ない支援に向けた連携体制の構築を促進する。
委員	学識経験者（秋田大学教育文化学部こども発達・特別支援講座 准教授 鈴木 徹 氏）、小学校、特別支援学校、放課後等デイサービス事業所、障害児相談支援事業所、市教育委員会、市福祉支援課 計8名
内容	1回目（6月）：連携促進に係る計画の検討、共有 2回目（1月開催予定）：実践の評価と今後の取組の検討



◇由利本荘市の取組（一部）◇

取組内容	方法	対象
福祉サービス等に関する情報の周知	・市教育委員会主催「特別支援教育コーディネーター研修会」の内容として設定	・各小・中学校特別支援教育コーディネーター
放課後等デイサービス事業所の見学	・市教育委員会が主催し、由利本荘地区の3事業所の見学機会を設定	・小・中学校、特別支援学校教職員
連携促進に向けた意見交換	・既存の「由利本荘市障がい者支援協議会せいかつ部会」と同時開催の形で、「学校と放課後等デイサービス事業所の連携協議会」を開催 ・提案・事例発表（新山小学校、ゆり支援学校）を受けたグループごとの意見交換と全体共有、秋田大学 鈴木准教授による講評の実施	・関係校教職員（小・中学校、特別支援学校） ・放課後等デイサービス事業所職員 ・障害児相談支援事業所職員

参加者の感想（アンケートより）

- ・「必要な時に集まる」フットワークの軽い、よい関係性をつくることが大切だと思った。
- ・個別の支援計画に記載される支援者が、それぞれの場でできることを具体的に考えたい。

おめでとうございます

令和4年度 文部科学大臣教育者表彰

文部科学省では、学校教育において顕著な功績をあげた方を表彰しています。この度、秋田きらり支援学校の千葉 雅樹 校長が、「令和4年度文部科学大臣教育者表彰」を受賞されました。

千葉 雅樹 校長先生、この度は本当におめでとうございます。

